

幼児教育学科

科目名: 保育内容(身体表現)の指導法			担当教員 氏名: 澤 聡美						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのよ保育園、子ども園、幼稚園及び運動教室における子供の運動指導の実務経験を活かして、子供の実際 うな授業を行っているか: 様子を踏まえて教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
子どもの感性と輝きを引き出すためには、保育者自身が、わくわくする体験を通して、感 性豊かに表現できる空間・時間・仲間と経験が大切である。実践と省察を繰り返すこと で、乳幼児の主體的な身体表現を展開するためには、どのように関わり、支援すればよ いのかを考える。						五感(豊かな感性)、健康、表現、人との関 わり			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 3. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
B 専門的技術	子どもの感性と輝きを引き出す表現方法や創作法を理解し、工夫できる。								
E 自己管理能力	自らの生活習慣、これまでの運動との関わりについて振り返り、自らの健康を管理でき る力を身につける。								
F チームワーク・リーダーシップ	チームで役割を分担して活動し、チームに参画する力を身につける。								
H コミュニケーション力	運動を通して他者と関わり、他者の意見を聴く力、理解する力、コミュニケーションにつ いて実践的に学ぶ。								
D 問題解決力	運動指導中に起こる問題について、考え、チームで解決方法を検討し、様々な解決方 法を考え、実践できる。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	60 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項: その他はチームでの発表や活動について評価する。									
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表・実技試験等の実施時期: 毎回、授業の終わりに気づき・学びシートを提出し、学 びを蓄積し、11回目と15回目に振り返りのレポートを作成する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントを書いて返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①オリエンテーション				[予習]これまでの運動に対する自分の関わりについて 振り返る [復習]身体表現の目標を決める		120分			
②幼児の表現を促す、感性を豊かにするリズム・表現				[復習]「いないいないばあ」を参考に、乳幼児が好きな 音楽(音)を見つける		120分			
③イメージを豊かにするための、素材(新聞紙)の特性を生かした表現と運動				[復習]身近な素材を使った親子での遊びを調べる		120分			
④イメージを豊かにするための、素材(布)の特性を生かした表現と運動				[復習]身近な素材を使った親子での遊びを考える		120分			
⑤イメージを豊かにするための、素材(風船)の特性を生かした表現と運動				[復習]身近な素材を使った親子での遊びを考える		120分			
⑥イメージを豊かにするための、動物の特性を生かした表現と運動				[予習]ファミリーパークの動物を調べる		120分			
⑦6回目の動物の模倣から、4つの運動スキル(移動系・平衡系・操作系・非移動系)を養う表 現・運動の創作				[復習]動物の絵本を見つけてくる		120分			
⑧動物の模倣から作品創作				[復習]動物の動きを調べる		120分			
⑨8回目に創作した表現を、曲に合わせ、ひと流れの作品に仕上げる。				[復習]スマホに録画した映像を見て、空間、リズム、体 の状態など工夫できることはないか検討する		120分			
⑩チームで創作した表現の発表				[復習]創作過程でのグループワークについて省察す る		120分			
⑪ICTを活用し、自他の体験した表現方法や表現活動の振り返り、表現の面白さや可能性の追求				[予習]子どもの体力について調べる		120分			
⑫体力を高めるための、身体表現(リズム)				[復習]自宅でも継続できる表現遊びを考える		120分			
⑬これまでの基礎的な知識・技能を生かし、体力を高めるための身体表現(リズム)の創作				[復習]自宅でも継続できる表現遊びを考える		120分			
⑭体力を高めるための身体表現(リズム)の発表準備				[予習]スマホに録画した映像を見て、空間、リズム、体 の状態など工夫できることはないか検討する		120分			
⑮発表と総評				[復習]実践を通じた学び、グループワークについて省 察する		120分			
使用テキスト: 必要に応じて配布する				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 運動にふさわしい服装で、装飾品は怪我につながるのではありませんこと。朝食を取ってから来ること。									